

江東内部河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応（基本的な考え方）

（全体にかかわるもの）

整理番号	意見	回答（基本的な考え方）
1	防潮堤の高さ（計画高）の決め方について、地球の環境などの大変動（地球温暖化）を考慮した防潮堤の高さにしないのか？ なお、考慮していないのなら、今回の変更で考慮に入れ、防潮堤の高さの変更して欲しい。	①江東内部河川については、伊勢湾台風級の台風襲来による高潮時（A. P. +5. 10m）の場合、水門を閉鎖するため、地球温暖化などの気候変動との直接的な関係はありません。 ②地球温暖化等による海面水位の上昇については、様々な予測値が出されており、今後の国の方針を踏まえて対応していきたいと考えています。
2	自転車走行（20km/h以下）のできる「専用ゾーン及び通行路（ともに、幅4～6m程度）」を、川の上流～下流域全域及び左岸に亘り、整備して欲しい。	河川に沿って設置されている通路は、河川を管理する目的のもので、分離は考えていません。

（個別地区等にかかわるもの）

	意見	回答（基本的な考え方）
3	旧中川から、小名木川、隅田川を渡って日本橋への水路景観は素晴らしいもので、川の文化的側面をもっとアピールして欲しい。旧中川は、河川敷も変化に富み、上流は幸田露伴の「盧声」、中流は澤野久雄の「逆井橋」、下流は永井家風の「放水路」のゆかりの地であるため、河川敷に文人のオブジェを作る。旧中川ふれあい橋だけでなく、「江東新橋」もライトアップする等の、「アトリバー」化を、関係部局と連携して取り組んでほしい。	水辺のにぎわい創出に向けた取り組みを、関係部局、地域と連携して実施します。 いただいたご意見は、水辺のにぎわい創出に向けた取り組みに関する貴重なご意見として参考とさせていただきます。

(その他)

その他提出されたご意見については、貴重な意見として今後の河川事業等への参考にさせていただきます。

	意見
4	<p>旧中川の汚濁について、日ごろ憂慮しておりましたが、冊子の P38 表—4・3 及び図—4.6 を見まして、旧中川の流れを元に戻す、木下川排水機場へのサイフォン設置で荒川の水を取り入れ、流況を改善するとのこと、大変嬉しく思います。木下川と共に小名木川排水機場も再構築に近い大工事になるかと思いますが、一日も早い着手、完成をお願いいたします。</p> <p>ただ、汚濁水を荒川に放流しますと、今度は荒川・東京湾が汚れることとなります。今度は下水道局に工夫、努力していただいて、合流下水の高度浄化、貯留槽の構築などをしていただくよう要望したいと思います。</p>